

# 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会ニュース

～子どもたちのより良い教育環境のために～

Vol. 8 発行 横須賀市教育委員会 2023.11



10月12日に開催した第6回横須賀市立小中学校適正配置審議会の内容についてお知らせします。

## ○第6回横須賀市立小中学校適正配置審議会の主な議題

- 1 走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進について（答申案）

## 1 第6回横須賀市立小中学校適正配置審議会の概要

(1) 走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進について（答申案）

これまでの審議を踏まえて以下のとおり作成された答申案について審議が行われました。その結果、「1 答申内容」と「2 理由」については原案のとおりとし、「付言」については、『両校の児童が新しい環境でスムーズに学べるようにすることが肝要である』といった旨の内容を追記することとなりました。

なお、田浦地域においては、「田浦小学校区を長浦小学校区に編入する方策が妥当である。」という答申案となっております。

### (答申案)

#### 1 答申内容

走水小学校区を馬堀小学校区に編入する方策が妥当である。

#### 2 理由

走水・馬堀地域においては、走水小学校と馬堀小学校の学校規模の小規模化が課題となっており、特に走水小学校においては複式学級となっていることから、喫緊の課題を解決するための方策として判断した。

#### 付言

教育環境整備の方策を実施するに当たっては、通学の安全を確保する方策を講じる必要があると考えます。

また、通学路が遠距離となっている地域もあることから、今後は、全市的な遠距離通学に対する方策の検討が必要であることを申し添えます。

(2) 答申案についての審議会委員の主な意見は以下のとおりです。

- 走水小学校においては、全校児童が少人数であり、複式学級という中で学習や生活がなされ、その児童がこれから馬堀小学校へ編入されることは、児童の学習環境を考えると、答申案が望ましいと思います。そこで考えられるのは、走水小学校と馬堀小学校では校風が違い、学校への思いも違うので、馬堀小学校に編入されたときには、学校として先生方や仲間の友達がスムーズに受け入れられるような受け入れ方を検討していただきたい。
- 小規模化が特に進んでいるという部分が理由になっています。別件で走水小学校に行く用事があり、改めて自然環境等も見てきました。私は教育実習を走水小学校で行いましたし、学生ボランティアでも走水小学校にお世話になった経験もあって、そのときはまだ複式学級であるとか、学年に一人二人ということではありませんでしたが、少し年数がたつ間にそのようなところまで来てしまったということには驚きましたし、児童の学習環境については心配をしたので、小規模化が非常に進んでいるという理由は納得できます。

ただ、田浦小学校から長浦小学校へ行くことと比べると、走水小学校から馬堀小学校へ行くことは、絶対数が少ない分、課題が多いと思っていて、特に複式学級になっている場合においては、その子1人だけが入ることになるので、そういった部分のサポート、フォローはしていかなければならないと思います。そういった部分も含めて、学校だけではなく、教育委員会の主導の元、策を講じていただければと思います。
- 私は市PTA協議会で、走水小学校において携帯ネット安全教室を毎年実施していて、校長先生等とお話をする機会や、児童と触れ合う機会があります。独特の自然に囲まれた環境で学んでいる姿が、とても地域に根付いていて、地域のシンボル、文化のような、守らなければならないものという感じを受けたので、走水・馬堀地域の問題に直面した時に、非常に気がかりでした。一方、子どもの成長や学習の習得に関しては、ある程度の人数がないと難しいであろうと思いましたので、答申案は妥当であると思います。

ただ、走水小学校は地域のシンボルであり文化のようなイメージですので、跡地利用については、地域の方と協議していただいて、良い利用方法を検討していただきたいと思います。また、走水小学校の子どもが少なく、転校生のようになると思いますので、受け入れの際には気をつけないといけないと思いました。

PTAに関しては、現在馬堀小学校は休止中で、走水小学校はPTAがある状態ですので、統合したときにしっかりと運用、運営ができるように市PTA協議会としてもサポートしたいと思います。
- 走水小学校の児童が1年から6年までで32人という、一般的な1クラスの数字よりも少なくなっており、将来的に考えても、答申案については適正であると思います。

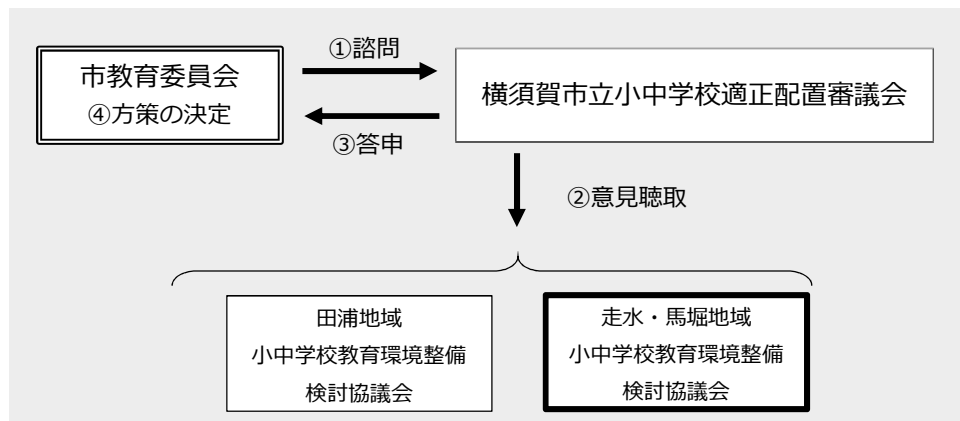
学校の問題というよりは、地域にこれだけしか子どもがないということ、地域が自主的に考えていかないと、その地域での子どもも含めた活動が、少数の中で行われていくようになってしまうことが危惧されます。
- 地域を支えるアンカーという話で跡地利用の件も出ましたが、跡地利用というよりも、走水のすばらしい教育環境を引き続き活用して欲しいという意見や、小学校を残すべきだという意見も地域から出ていました。それに対して、子どもの教育環境の観点から、このような統合案が出ていることに当たって、統合するとしても、走水という地域の素晴らしい環境を使った教育は取り入れていくべきであろうということを示し添えたいと思います。

- 走水・馬堀地域の議論については、走水小学校が複式学級である状況や、児童数を客観的に受けとめて考慮すると、答申案の内容が妥当であると考えます。一方で、田浦地域と同様ですが、答申に書かれていない部分をどう伝えていくかということが重要だと思えます。特に小規模化が甚だしく進んでいる走水小学校の児童が編入されたときに、それをどのように受けとめていくのかという問題があると思えます。これは田浦小学校とはレベルが違うと思えますので、どのような配慮をしていくのかということについては、大きな論点の一つだと考えています。

また、地域からの意見の中でも、走水地域における走水小学校が果たしてきた、いわゆる小学校教育としての機能のみならず、その地域を維持するための社会的機能や文化的機能、こういった地域を支えていくアンカーとしての役割があったと理解すべきだと思えます。そのような意味でいうと、跡地利用も含めたあり様については、教育環境整備とは次元を超えて、より全市的な議論になってくると思いますが、地域の方々との理解を形成をして進めていくということが肝要になってくると思えます。今の話は教育環境整備の枠からは超えている話ですので、答申の中で明記するかどうかは検討が必要ですが、そういった点に審議会でも指摘があったということを確認できればと思います。

## 2 今後の流れについて

横須賀市立小中学校適正配置審議会は教育委員会へ答申します。**その後、教育委員会において答申に基づき審議を行い、方策を決定しますが、現時点では方策の決定時期は未定です。**



## 3 地域への説明会の開催について

審議会は、答申をとりまとめ、10月末に教育委員会へ答申することとなりました。

つきましては答申の内容に関する説明会を以下のとおり開催いたします。説明内容は各回同じ内容となります。事前の申込等は不要ですので、ご参加を希望される方は当日、会場へお越しください。

日付	時間	場所	対象
11月20日 (月)	午後6時から	走水小学校 体育館	走水小学校区の 保護者、地域住民の皆様
11月21日 (火)	午後6時から	大津コミュニティセンター 学習室4・5・6	馬堀小学校区の 保護者、地域住民の皆様
11月25日 (土)	午後3時45分から	大津コミュニティセンター 体育室	走水小学校区の 保護者、地域住民の皆様  馬堀小学校区の 保護者、地域住民の皆様

## 4 次回の地域別協議会の開催について

第7回 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会

日 時：令和5年11月9日（木曜日）19時00分から

場 所：大津コミュニティセンター 学習室4・5・6

### 教育環境整備検討協議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL  
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/tiikibetukyougikai.html>

QRコード



### 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL  
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/shouchuugakkoutekiseihaichisingikai.html>

QRコード



## ～皆さまからのご意見等を受け付けております～

ご意見等がございましたら、以下のファクスかE-メールまでお願いいたします。

### 事務局（お問い合わせ先）

〒238-8550 横須賀市小川町11番地  
横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課  
電話 046-822-9751 ファクス 046-822-6849  
E-メール [sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp)

